

【福岡女学院教会 主日家庭礼拝】

2022. 8. 14.
聖霊降臨節 第11主日

黙想(黙祷)

招詞 わたしたちの助けは
天地を造られた主の御名にある。
(『讃美歌21』93-1-6)

讃美歌 61 (われらは信ず)

主の祈り

讃詠 26 (グロリア、グロリア、グロリア)

聖書 マタイによる福音書 18章15節～20節
(新約 35頁)

信仰告白 使徒信条

メッセージ 「二人または三人が」 多田玲一牧師

祈 禱 ※それぞれ自由にお祈り下さい

讃美歌 561 (平和を求めて)

頌 栄 24 (たたえよ、主の民)

黙想(黙祷)

◎ 讃美歌は歌詞を読むだけでも結構です。
◎ 会堂での礼拝では讃美歌を短縮して賛美します。

【主の祈り】 (『讃美歌21』93-5-A)

天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあげさせたまえ。
み国を来(きた)らせたまえ。
みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ。
我らの日用(にちよう)の糧(かて)を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、悪より救い出(いだ)したまえ。
国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり。
アーメン

【信仰告白 使徒信条】 (『讃美歌21』93-4-A)

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生れ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがへり、
天に昇り、全能の父なる神の右に坐したまへり、
かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審きたまはん。
我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、罪の赦し、
身体のよみがへり、永遠の生命を信ず。アーメン。



日本基督教団 福岡女学院教会

牧師 多田玲一

協力牧師 青木麻里子、大島一利

〒811-1321 福岡市南区柳瀬1丁目41-32

TEL 092-591-5627 (Fax 兼)

教会ホームページ [http:// www.fukujoch.com/](http://www.fukujoch.com/)

(教会創立 1946年6月2日)



◆兄弟の忠告

- 15 「兄弟があなたに対して罪を犯したなら、行って二人だけのところで忠告しなさい。言うことを聞き入れたら、兄弟を得たことになる。
- 16 聞き入れなければ、ほかに一人か二人、一緒に連れて行きなさい。すべてのことが、二人または三人の証人の口によって確定されるようになるためである。
- 17 それでも聞き入れなければ、教会に申し出なさい。教会の言うことも聞き入れないなら、その人を異邦人か徴税人と同様に見なしなさい。
- 18 はっきり言うておく。あなたがたが地上でつなぐことは、天上でもつながれ、あなたがたが地上で解くことは、天上でも解かれる。
- 19 また、はっきり言うておくが、どんな願い事であれ、あなたがたのうち二人が地上で心を一つにして求めるなら、わたしの天の父はそれをかなえてくださる。
- 20 二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいるのである。」

※聖書は本文は全て、日本聖書協会『聖書 新共同訳』